



公社 豊島病院

〒173-0015

東京都板橋区栄町33番1号

電話 03-5375-1234

URL <http://www.toshima-hp.jp/>

病院の 概要

豊島病院は東武東上線大山駅（池袋から5分）から徒歩約8分、中板橋駅から徒歩約10分、都営三田線板橋区役所前駅から徒歩約12分の立地にあり、地域支援型病院として23区西北部（板橋区、練馬区、北区、豊島区）の地域医療を担っています。（1）救急医療（二次救急）、（2）がん医療（消化器系・呼吸器系悪性腫瘍を中心に、血液、泌尿器系、婦人科系悪性腫瘍等）、（3）脳血管疾患（脳神経外科および神経内科が協力して脳卒中ケアユニットを構築）を重点医療として取り組み、地域との連携を重視した医療を推進しています。当院では“断らない救急”を目指しており、二次救急指定病院としての救急医療、緩和ケア、精神科救急、感染症、リハビリテーション、障害者歯科にも積極的に取り組んでおります。また病床数470床の中規模病院ですので各科、各部署との連携が取りやすく小回りがきくのが特徴です。

■ 診療科目

内科 循環器内科 精神科 神経内科 小児科 外科 整形外科 形成外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科
産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 診療放射線科 麻酔科 歯科口腔外科 感染症内科
緩和ケア内科

■ 基幹施設となる診療科（括弧内は連携施設病院）

- ・内科（広尾 / 大塚 / 駒込 / 墨東 / 多摩総合 / 大久保 / 東京都健康長寿医療センター / 東京医科歯科大学医学部附属病院 / 日本大学医学部附属板橋病院 / 青梅市立総合病院 / JCHO 東京山手メディカルセンター / 新渡戸記念中野総合病院 / 島しょ等）
- ・精神科（小児総合 / 松沢 / 恩田第二病院 / 東京都健康長寿医療センター / 国立精神・神経医療研究センター / 成増厚生病院 / 陽和病院 / 東京足立病院 / 国立がん研究センター中央病院）
- ・麻酔科（広尾 / 大塚 / 駒込 / 墨東 / 多摩総合 / 神経 / 小児総合 / 東部 / 多摩北 / 荏原 / 順天堂大学医学部附属順天堂医院 / 東京女子医科大学病院 / 日本大学医学部附属板橋病院、越谷市立病院）

■ 連携施設となる診療科（括弧内は東京医師アカデミーにおける基幹施設病院のみ掲載）

- ・内科（広尾 / 大塚 / 駒込 / 墨東 / 多摩総合 / 大久保）
- ・外科（墨東）
- ・小児科（小児総合）
- ・精神科（松沢）
- ・麻酔科（広尾 / 大塚 / 駒込 / 墨東 / 多摩総合 / 東部 / 荏原）
- ・泌尿器科（駒込）
- ・病理科（駒込）

臨床研修委員会委員長及びシニアレジデントのひとこと

臨床研修委員会委員長からのひとこと



循環器内科部長
畑 明宏

今年度からの新専門医制度により豊島病院は内科、麻酔科、精神科の基幹病院となりますが、その他の診療科も連携病院として今までの研修レベルが変わることはなく、各科専門領域の認定医、専門医の取得を目標としてカリキュラムが作られています。

当院における研修の特徴は、なんといっても技術習得の機会が多いことにあります。レジデントの経験する手術症例数、検査手技数が他の施設と比べて非常に多くなっています。日常の臨床では、専攻医（シニアレジデント）の活躍の場が多く、一般臨床だけでなく二次救急を支えるプライマリケア医としても活躍してもらいます。初期研修医への教育も担ってもらいます。診療環境として、看護師、検査技師、コメディカル、各科、各部署の連携が取りやすく医療が円滑に行われることは君たち専攻医が活躍してゆくに極めて有効です。これらが豊島病院の特質です。勉強もしてください。院内研修会、CPC、学会発表など機会は多く、参加費の援助も出ます。

豊島病院の研修には自分の未来が見える確実な研修システムと人間関係があります。希望する科のカリキュラムを見てみてください。もっと知りたいときはメールで連絡していただいて直接見学に来てください。今まで書かせていただいたことを実感していただけるはずですよ。

シニアレジデントからのひとこと①



外科
H29 年度修了生
川口 真智子

私は3年間、シニアレジデントとして豊島病院の外科系コースで研修させていただきました。当院での研修は、①手術症例が豊富で、②手術以外の検査や処置、治療も習得できることが特徴だと思います。

ヘルニアや痔核、鏡視下手術、緊急疾患（虫垂炎、胆嚢炎、消化管穿孔など）、悪性腫瘍手術（胃、大腸、肝臓、胆道、膵臓など）を経験し、執刀させていただきました。指導医の先生方は層が厚く高い技術を持っており、それぞれの分野で私たち個人のレベルに合わせて丁寧に指導していただきました。自分から学び、考え、実践するということを繰り返し、まだ未熟ではありますがより自分の技術としてしっかり身についたと思います。

また、手術だけでなく内視鏡手技（スクリーニングからEMR、ERCP）や処置（PTGBD、PTCDなど）を幅広く経験できます。特に内視鏡手技は外科でも多く行っており、一通りの処置を学ぶことができます。外科的な視点だけでなく、消化器内科とも連携をとって協力し、ご指導いただきながら勉強することができたと思います。

医師は「一生勉強」と言いますが、若いうちにはたくさんのお患者さんや指導医に出会い、様々な経験をすることが大事ではないかと思います。今後、長い医師としての人生の中で、専門へ進んだ最初の段階で当院で研修できたことは、とても大きな収穫がありました。興味のある方は、是非見学にいらして下さい。

シニアレジデントからのひとこと②



内分泌代謝内科
2年次
三好 泰斗

こんにちは。豊島病院シニアレジデント1年目の三好泰斗と申します。当院の後期研修について述べさせていただきます。

私は他院での初期研修を終えた後、当院で内分泌代謝内科の後期研修を行っております。当院の魅力としては、地域の中核となる中規模病院でありながら、糖尿病・内分泌ともに教育施設であり、豊富な経験ができるという点にあると思います。

糖尿病に関しては、10日間のクリニカルパスを用いた教育入院を、毎週受け持っております。通常の入院診療のみならず、糖尿病教室や糖尿病患者会などの活動も行っています。特に外来診療は、初期研修医の時は経験できないものの、糖尿病診療の醍醐味の一つだと思います。長期的な観点で、服薬調整や栄養指導などを行うことで、入院中の管理とはまた異なった、慢性疾患としての糖尿病診療を行うことは、難しさもありますが、とてもやりがいのある仕事の一つです。

一方で、大学病院などと比較すると、市中病院では内分泌疾患に関しては、あまり経験できないものと考えていましたが、予想以上に豊富な内分泌疾患を経験することができています。A V Sを含めた原発性アルドステロン症の診断、治療や副腎不全、膵内分泌腫瘍など、1年間で多岐に渡る症例を受け持つことができました。

また、働きやすさという点では、診療科の垣根が低く、スタッフとの関係が非常に良好な環境も当院ならではだと思います。特に他科の同期のシニアレジデントはとても身近な存在であり、ともに刺激し合える仲間です。ぜひ当院と一緒に研修しましょう！